

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	毎年6月30日
中間配当を行う場合の基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 証券代行事務センター 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
公 告 方 法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公 告 掲 載 サイトアドレス	http://www.garage.co.jp/ir/financial_001.html
上 場 取 引 所	JASDAQ
銘 柄 コ ー ド	4819

株式会社デジタルガレージ

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷二丁目43番15号
お問い合わせ先電話 03-5465-7747
e-mail dg4819.ir@garage.co.jp
当社Webサイトアドレス <http://www.garage.co.jp/>
IRホームページアドレス <http://www.garage.co.jp/ir/>



株式会社デジタルガレージ

第 13 期

Business Report (中間期)

平成19年7月1日～平成19年12月31日

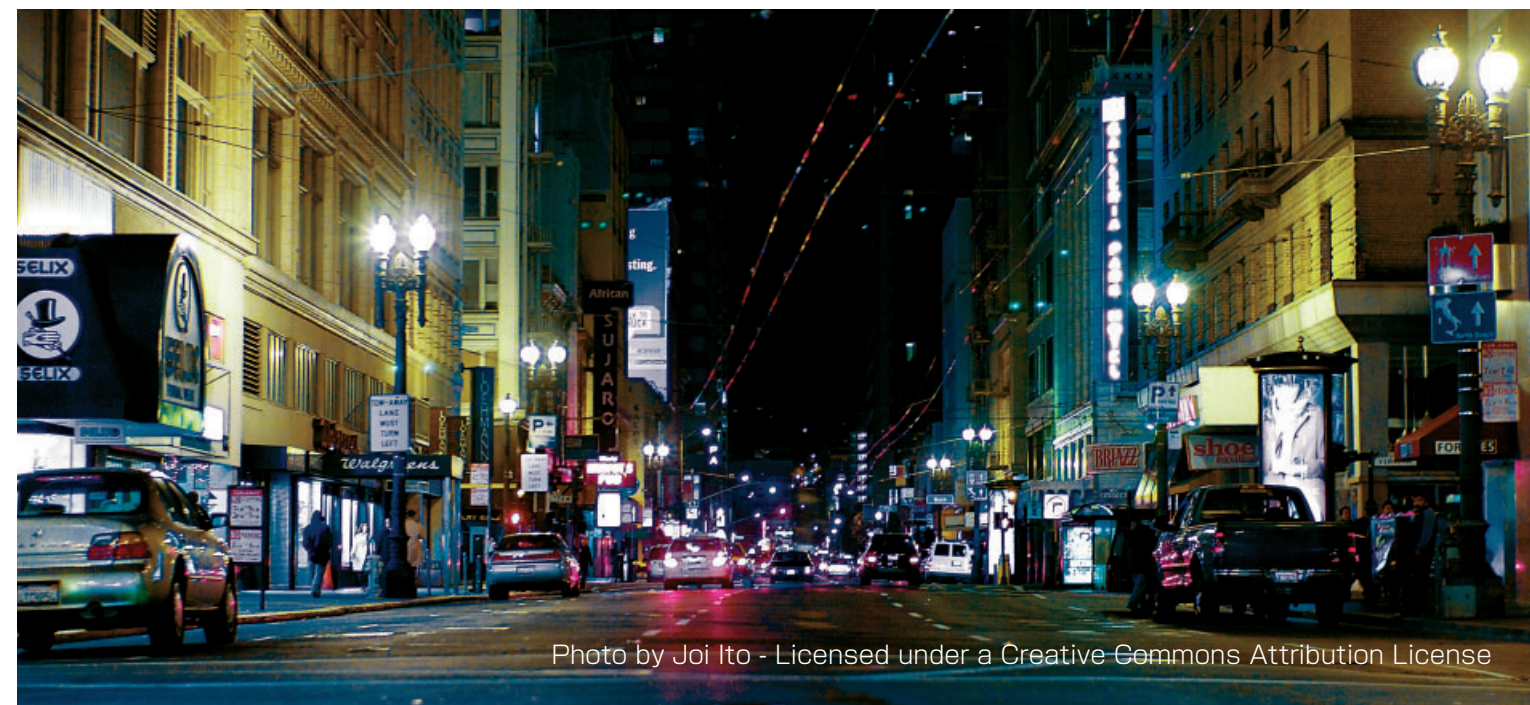


Photo by Joi Ito - Licensed under a Creative Commons Attribution License

株主ならびに投資家の皆様へ

平成20年6月期（第13期）の上半期が終わりました。㈱創芸が全額出資のグループ会社となり連結対象となるなど、グループ事業の規模が一段と拡大するなか、グループ各社のコアコンピタンスを再確認しつつ、グループ内外とのコラボレーション/マッシュアップを模索する重要な半期となりました。

グループ4事業（ソリューション、ポータル/ブログ、ファイナンス、インキュベーション）中で当半期のハイライトをご報告させていただきます。

クロスメディアでのプロモーションを展開する㈱ディージー・アンド・アイベックスの事業は、好調を維持し、次世代型ソリューションカンパニーとしての地位を獲得しつつあります。

当初は首都圏など地域限定のサービスとしてスタートした㈱創芸と㈱カカコムとの共同事業「マンションDB」は、対象地域を全国へと広げ、多くのユーザーに支持されるサービスへと成長し、今後もユーザーの方への有益な機能を随時追加していきます。

次世代のネット広告ビジネスを担う㈱CGMマーケティングが運営するブロガーと広告主のマッチングサービス「AD-Butterfly」（アドバタフライ）は、参加ブロガー数が月間1,000以上のペースで順調に伸び、動画広告の準備を進めるなど中期的な収益の柱へと戦略的に事業推進を行っています。

ファイナンス事業の中心企業である㈱イーコンテクストは、戦略エリアであるチケット業界の最大手びあ㈱との提携や「Edy」、fID」に続き「モバイルSuica」による決済導入を発表するなどより一層の事業基盤の強化を図っております。

国際間の垣根が否応なく低くなり、ある国の出来事が決して他人事ではなくなる時代を迎えました。こうしたなかで、今年は新たなテーマとして『Share & Be Open』を掲げました。

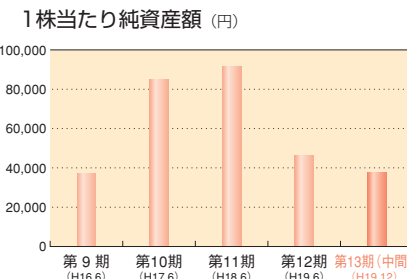
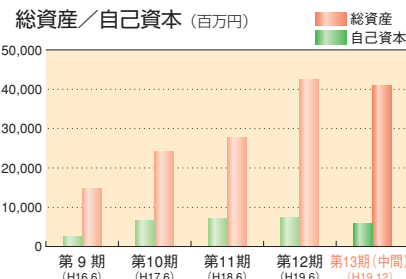
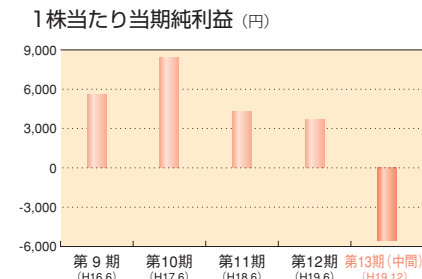
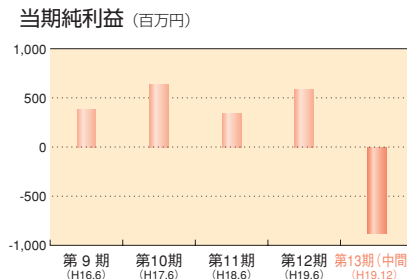
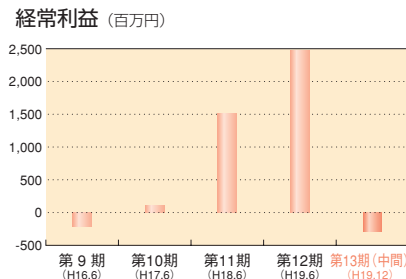
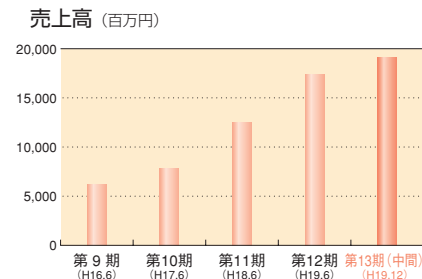
インターネットを巡る国内外の最新動向を常にウォッチしているなかで、外国企業とのコラボレーションによる新たな事業の展開も準備しています。株主ならびに投資家の皆様には、これからも当社及び当社グループへのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

連結決算ハイライト



代表取締役/グループCEO

林 郁（はやし かおる）



※平成18年12月31日を基準日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を致しております。

平成20年6月期（中間）の連結業績について

当中間連結会計期間における我が国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安による株価下落等の影響はありながらも、企業収益の改善を背景として民間設備投資は増加し、雇用情勢の改善等による個人消費も底堅く、緩やかながら引き続き回復基調を辿りました。また、当社を取り巻くインターネット及びブロードバンド関連の環境につきましても、平成19年9月末時点でブロードバンド契約数が2,700万を超えるなど、継続的な拡大基調にあります。

このような状況の下、当社は引き続き、純粋持ち株会社としてグループ視点での経営目標の設定・実行等を継続的に行うとともに、グループ各社の有機的連携の強化を図ってまいりました。

特に当中間連結会計期間におきましては、前連結会計年度末に完全子会社とした㈱創芸について、グループ各社とのシナジーを追求し、同社が元来持つリアルフィールドでの実績・ノウハウに当社グループの持つデジタルフィールドでのリソースを加え、付加価値を高めてまいりました。その一例として、㈱カカコムとの共同事業として開始したインターネットサイト「マンションDB」も順調に立ち上がるなど、セグメント内外におけるグループ各社との連携も強化され、安定的な経営基盤を確立しつつあります。

【ソリューション事業】
ソリューション事業におきましては、上記のとおり前連結会計年度末に完全子会社としました㈱創芸が売上高、営業利益ともに大きく寄与しております。また、クロスメディアでのプロモーションを展開する連結子会社㈱ディージー・アンド・アイベックスにおきましても、Web等のデジタルプロモーションが依然として好調に推移しており、高い収益性を実現しております。

これらの結果、ソリューション事業につきましては、売上高は14,517百万円（対前年同期比11,989百万円増、同474.3%増）となり、営業利益も243百万円（対前年同期比220百万円増、同923.5%増）と大幅な増収増益となりました。

【ポータル/ブログ事業】
ポータル/ブログ事業におきましては、連結子会社㈱カカコムの運営サイトにおける月間利用者数及び月間総ページビュー等も堅調に推移し、また、同㈱DGモバイルの携帯電話向け電子書籍コンテンツ事業も順調に拡大しております。しかしながら、一方で㈱カカコムにおいて集客力向上のための宣伝広告を集中的に行うことで広告宣伝費が増加するなど、先行投資により一部の営業費用が増加致しました。

これらの結果、ポータル/ブログ事業につきましては、売上高は3,019百万円（対前年同期比766百万円増、同34.0%増）と順調に伸長し、上記の営業費用の増加はあったものの、営業利益は386百万円（対前年同期比66百万円減、同14.8%減）を確保致しました。

【ファイナンス事業】
ファイナンス事業におきましては、連結子会社㈱イーコンテクストが提供する決済・物流サービスについて、大型顧客の新規開拓を推進するとともに、ビジネスパートナーとの連携も進め、より効率的な営業活動を行い、売上拡大に努めました。また、同㈱カカコム・インシュアランスにおける保険代理業務、並びに同㈱カカコム・フィナンシャルにおける外国為替証拠金取引業務につきましても、顧客数・売上高ともに順調に推移致しております。

これらの結果、ファイナンス事業につきましては、売上高は1,556百万円（対前年同期比192百万円増、同14.1%増）と増加致しましたが、前連結会計年度に設立した子会社のコスト負担等もあり、営業利益は252百万円（対前年同期比57百万円減、同18.5%減）にとどまりました。

【インキュベーション事業】
インキュベーション事業におきましては、「ミニブログ」としてインターネット上で話題の米国Twitter社への国内初となる出資を行うなど、将来の収益獲得源泉の確保を行うとともに、併せて既存投資先のキャピタルゲインの実現へ向けての育成活動に注力致しました。

これらの結果、前中間連結会計期間は投資先の株式上場がありましたが、当中間連結会計期間はこれに該当するものが無かったため、売上高はゼロ（前年同期は1,456百万円）、さらに保有する営業投資有価証券を保守的に評価し、314百万円の評価損を売上原価に計上したことから、営業損失も452百万円（前年同期は営業利益521百万円）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の連結売上高は19,093百万円（対前年同期比11,491百万円増、同151.2%増）と大幅な増収となりましたが、一方で上記のとおり、インキュベーション事業における営業投資有価証券を保守的に評価したこと、営業損失は181百万円（前年同期は営業利益1,015百万円）、経常損失も287百万円（前年同期は経常利益938百万円）となりました。また、当社及び㈱DGインキュベーションにおいて繰延税金資産を保守的に計上しないこととしたことにより、中間純損失につきましても884百万円（前年同期は中間純利益68百万円）となりました。

（単位：百万円）

事業の種類別 セグメントの名称	第12期（中間期） 自平成18年7月1日 至平成18年12月31日		第13期（中間期） 自平成19年7月1日 至平成19年12月31日		前年比 増減額 (△は減)	前年比 増減率 (△は減)
	売上高	構成比	売上高	構成比		
ソリューション事業	2,527	33.3%	14,517	76.0%	11,989	474.3%
ポータル/ブログ事業	2,253	29.6%	3,019	15.8%	766	34.0%
ファイナンス事業	1,363	17.9%	1,556	8.2%	192	14.1%
インキュベーション事業	1,456	19.2%	—	—	△1,456	—
合計	7,601	100.0%	19,093	100.0%	11,491	151.2%

トピックス

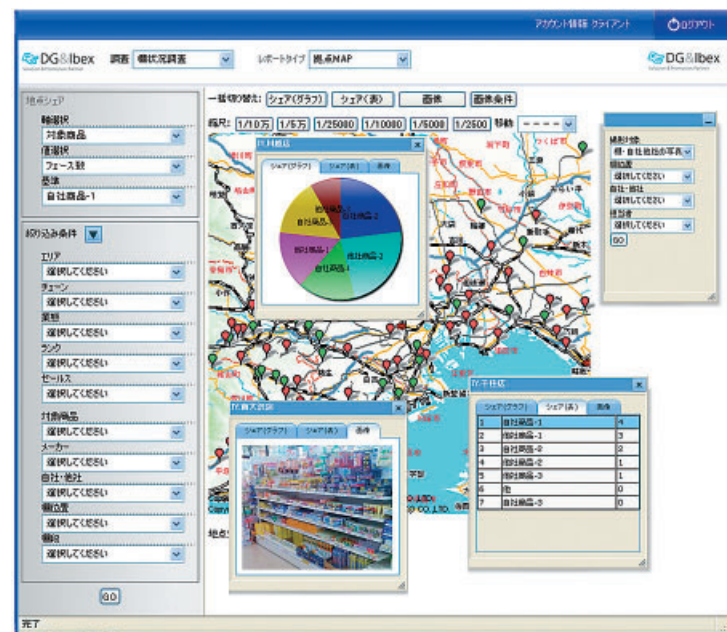
新しい事業のご紹介

(株)ディージー・アンド・アイベックス

「店頭見える化MAP」

セールスプロモーションをはじめとしたトータルソリューションを提供する(株)ディージー・アンド・アイベックスが平成19年9月に始めた新事業で、消費財などのメーカー向けに開発した、携帯電話を入力端末としてスーパーやコンビニの店頭での商品の陳列状況などを遠隔的に把握するための「リテールマーケティングデジタルソリューション」です。

売り場の状況は変化が激しいため、商品を提供するメーカーには売り場の状況を正確に把握し、迅速に改善することが求められています。多くのメーカーでは「フィールドワーカー」「ラウンダー」と呼ばれる営業スタッフが各店舗を巡回していますが、リアルタイムでのレポートは難しく、情報収集と集計、分析に時間がかかる問題がありました。



「店頭見える化MAP」は、メーカーの巡回営業スタッフが携帯電話で撮影したり入力したりして送信した店頭の様子や店舗名、商品名、棚の段数などの売り場情報を集計し、地図情報とともにパソコン画面にグラフィカルに集計データを映し出すシステムです。商品の陳列状況や販促ツールの設置状況把握のほか、店頭でインタビューした顧客の声の集計分析やPOSデータとの連携分析にも活用できます。

食品や化粧品、日用雑貨、家電など幅広いメーカーの営業部門を主な得意先として、ASP方式で提供しています。



(株)テクノラティジャパン



(株)カカコム



(株)CGMマーケティング



「Hyobans (ヒョーバンズ)」

<http://hyobans.technorati.jp/>

国内最大級のブログ検索サイト「テクノラティジャパン」を運営する(株)テクノラティジャパンと国内最大級の価格比較サイト「価格.com」を運営する(株)カカコムのグループ会社2社と、ITニュースサービス事業を展開する(株)Impress Watchとのコラボレーション事業です。各社が運営するインターネットメディアの技術やコンテンツを活用し、PCやデジカメ、AV機器、ゲームソフトなどの新製品についての情報を多角的な切り口で提供するウェブサイトとして平成19年12月に開設したのが「Hyobans (ヒョーバンズ)」です。

当社と(株)電通などによる共同出資会社で、ブログに代表されるCGM (消費者作成メディア) を活用した広告商品開発などを手掛ける(株)CGMマーケティングが企画しました。

PCなどの新製品について発売カレンダーとともに、それらの新製品に関するニュース、ブログ記事、価格情報などをコンテンツとして提供します。新製品を見る“プロ”である記者が書いた記事と、消費者の視点を持つブロガーによる記事を組み合わせ「News×Blog」という新しい切り口による新製品情報に、商品価格などの市場情報を組み合わせ提供しています。

新製品の購入を検討する一般消費者のほか、新製品を製造したり販売したりするメーカーや流通関係者からも注視されています。



中間連結財務諸表

● 中間連結貸借対照表

科 目	当中間期	前中間期	前期
	平成19年12月31日現在	平成18年12月31日現在	平成19年6月30日現在
(資産の部)			
流動資産	30,743,922	20,541,097	31,918,644
現金及び預金	8,529,862	9,447,769	13,499,476
金銭の信託	3,489,132	—	—
受取手形及び売掛金	8,250,093	1,994,163	9,546,686
有価証券	900,000	—	—
営業投資有価証券	2,856,051	4,304,029	3,769,005
投資損失引当金	△226,358	△570,956	△226,358
たな卸資産	1,343,753	161,557	1,018,311
繰延税金資産	110,960	360,479	234,996
未収入金	4,788,698	3,786,807	3,100,575
その他	705,699	1,061,046	1,025,356
貸倒引当金	△3,971	△3,799	△49,407
固定資産	10,308,642	8,523,998	10,489,024
有形固定資産	411,814	334,361	360,233
無形固定資産	7,283,308	6,416,926	7,543,793
ソフトウェア	992,312	849,644	880,047
のれん	6,271,245	5,553,506	6,645,839
その他	19,750	13,775	17,906
投資その他の資産	2,613,520	1,772,710	2,584,997
投資有価証券	900,111	911,622	536,250
長期貸付金	7,541	—	78,412
繰延税金資産	7,892	353,646	34,964
その他	1,715,541	510,539	1,952,680
貸倒引当金	△17,566	△3,097	△17,310
資産合計	41,052,565	29,065,096	42,407,669

(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期	前期
	平成19年12月31日現在	平成18年12月31日現在	平成19年6月30日現在
(負債の部)			
流動負債	25,120,203	14,816,536	26,384,002
支払手形及び買掛金	8,227,233	899,489	10,640,033
短期借入金	5,546,798	1,230,000	5,537,212
一年以内返済予定の長期借入金	445,000	254,000	332,820
一年以内償還予定の社債	832,000	40,000	988,000
未払法人税等	710,136	760,576	893,610
賞与引当金	97,451	87,669	102,554
返品調整引当金	12,972	6,817	12,972
事業再構築引当金	2,340	—	165,162
預り金	8,108,148	11,107,706	6,399,144
その他	1,138,124	430,277	1,312,492
固定負債	5,289,521	3,177,372	4,279,982
社債	780,000	400,000	816,000
長期借入金	3,830,000	2,750,000	2,630,000
繰延税金負債	87,595	160	146,169
退職給付引当金	506,427	23,568	573,611
その他	85,499	3,642	114,201
負債合計	30,409,725	17,993,908	30,663,984
(純資産の部)			
株主資本	6,606,142	7,104,452	7,452,752
資本金	1,828,308	1,800,066	1,809,412
資本剰余金	4,171,265	4,333,840	4,152,370
利益剰余金	608,490	972,478	1,492,890
自己株式	△1,921	△1,932	△1,921
評価・換算差額等	△592,376	△126,250	△157,856
その他有価証券評価差額金	△595,911	△126,250	△157,856
為替換算調整勘定	3,534	—	—
新株予約権	4,071	1,454	3,198
少数株主持分	4,625,002	4,091,532	4,445,589
純資産合計	10,642,839	11,071,188	11,743,684
負債純資産合計	41,052,565	29,065,096	42,407,669

● 中間連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期	前期
	自平成19年7月1日 至平成19年12月31日	自平成18年7月1日 至平成18年12月31日	自平成18年7月1日 至平成19年6月30日
売上高	19,093,343	7,601,510	17,338,744
売上原価	13,617,209	3,872,153	10,046,843
売上総利益	5,476,133	3,729,356	7,291,900
返品調整引当金繰入額	—	6,817	12,972
差引売上総利益	5,476,133	3,722,538	7,278,928
販売費及び一般管理費	5,657,330	2,707,199	5,665,776
営業利益又は損失(△)	△181,196	1,015,339	1,613,152
営業外収益	44,246	8,841	1,032,797
営業外費用	150,316	86,031	170,141
経常利益又は損失(△)	△287,267	938,149	2,475,808
特別利益	463,175	33	236,152
特別損失	69,132	45,321	105,623
税金等調整前中間(当期)純利益	106,776	892,861	2,606,337
法人税、住民税及び事業税	688,208	734,342	1,202,403
法人税等調整額	△12,308	△160,927	256,359
少数株主利益	315,276	251,224	558,940
中間(当期)純利益又は損失(△)	△884,400	68,221	588,633

● 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期	前期
	自平成19年7月1日 至平成19年12月31日	自平成18年7月1日 至平成18年12月31日	自平成18年7月1日 至平成19年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,707,266	1,520,966	779,065
投資活動によるキャッシュ・フロー	209,586	511,936	3,355,538
財務活動によるキャッシュ・フロー	808,875	△266,761	△203,196
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,614	396	853
現金及び現金同等物の増加又は(△)減少額	△1,686,190	1,766,538	3,932,260
現金及び現金同等物の期首残高	11,509,880	7,471,888	7,471,888
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	105,731	105,731
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	9,823,690	9,344,158	11,509,880

● 中間連結株主資本等変動計算書 当中間連結会計期間 (自平成19年7月1日 至平成19年12月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本				評価・換算差額等			新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定				評価・換算 差額等合計
平成19年6月30日 残高	1,809,412	4,152,370	1,492,890	△1,921	7,452,752	△157,856	—	△157,856	3,198	4,445,589	11,743,684
中間連結会計期間中の変動額											
新株の発行	18,895	18,894			37,790						37,790
中間純損失			△884,400		△884,400						△884,400
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△438,054	3,534	△434,520	872	179,413	△254,234
中間連結会計期間中の変動額合計	18,895	18,894	△884,400	—	△846,609	△438,054	3,534	△434,520	872	179,413	△1,100,844
平成19年12月31日 残高	1,828,308	4,171,265	608,490	△1,921	6,606,142	△595,911	3,534	△592,376	4,071	4,625,002	10,642,839

主要なグループ各社の概要

平成20年2月29日現在

ソリューション事業

(株)DGソリューションズ

資本金 115百万円（議決権比率 100.00%）連結子会社
ソリューションセグメントの中間持ち株会社

(株)DGメディアマーケティング

※議決権比率の（内書）は、間接所有
であります。

資本金 75百万円（議決権比率（94.12%））連結子会社
インターネット広告の企画・開発・販売及びグループメディアの販売

(株)ディージー・アンド・アイベックス

※議決権比率の（内書）は、間接所有
であります。

資本金 100百万円（議決権比率（100.00%））連結子会社
マーケティング・プロモーション支援サービス、ITシステム設計開発

(株)クリエイティブガレージ

※議決権比率の（内書）は、間接所有
であります。

資本金 30百万円（議決権比率（100.00%））連結子会社
広告グラフィックス、映像、Web等デザイン企画制作、出版等ク
リエイティブ制作全般

(株)創芸

※議決権比率の（内書）は、間接所有
であります。

資本金 575百万円（議決権比率（100.00%））連結子会社
総合広告代理業務、特に不動産業向け広告業務全般

ポータル／ブログ事業

(株)カカコム

資本金 463百万円（議決権比率 40.76%）連結子会社
価格比較サイト「価格.com」の運営他

(株)テクノラティジャパン

資本金 100百万円（議決権比率 100.00%）連結子会社
ブログ検索サービス、ブログマーケティングリサーチ等

フォートラベル(株)

※議決権比率の（内書）は、間接所有
であります。

資本金 191百万円（議決権比率（73.66%））連結子会社
旅行口コミサイト「フォートラベル」の運営他

(株)WEB2.0

※議決権比率の（内書）は、間接所有
であります。

資本金 100百万円（議決権比率 86.00%（10.00%））連結子会社
インターネット情報共有サイト「PingKing」の企画・運営

(株)DGモバイル

資本金 227百万円（議決権比率 80.00%）連結子会社
携帯電話向けコンテンツ企画、制作、配信事業他

(株)CGMマーケティング

資本金 200百万円（議決権比率 51.00%）連結子会社
CGM（消費者作成メディア）を活用した広告商品開発、プロガーと
広告主のマッチングサービス事業

ファイナンス事業

(株)イーコンテキスト

資本金 1,093百万円（議決権比率 45.56%）連結子会社
ECビジネス等における決済・物流プラットフォーム事業等

(株)カカコム・フィナンシャル

※議決権比率の（内書）は、間接所有
であります。

資本金 150百万円（議決権比率（100.00%））連結子会社
外国為替証拠金取引事業他

(株)カカコム・インシュアランス

※議決権比率の（内書）は、間接所有
であります。

資本金 105百万円（議決権比率（100.00%））連結子会社
損害保険代理業及び生命保険の募集に関する業務等

(株)グロース・パートナーズ

資本金 150百万円（議決権比率 58.00%）連結子会社
IR支援事業及びIRポータルサイト「STOCKCAFE」の運営等

インキュベーション事業

(株)DGインキュベーション

資本金 350百万円（議決権比率 100.00%）連結子会社
ベンチャー企業等への投資・育成等インキュベーション事業

(株)DG&パートナーズ

※議決権比率の（内書）は、間接所有
であります。

資本金 30百万円（議決権比率（80.00%））連結子会社
投資事業組合財産の管理運営業務

個別中間財務諸表（要旨）

●中間貸借対照表（個別）

（単位：千円）

科 目	当中間期	前中間期	前期
	平成19年12月31日現在	平成18年12月31日現在	平成18年6月30日現在
（資産の部）			
流動資産	2,662,695	2,562,108	2,493,985
固定資産	10,346,296	10,641,822	10,431,258
有形固定資産	43,419	28,724	45,645
無形固定資産	15,673	7,322	9,409
投資その他の資産	10,287,204	10,605,775	10,376,202
資産合計	13,008,992	13,203,930	12,925,243
（負債の部）			
流動負債	6,570,213	6,441,244	5,949,788
固定負債	2,822,847	3,061,756	2,943,267
負債合計	9,393,061	9,503,001	8,893,056
（純資産の部）			
株主資本	3,665,912	3,699,475	4,048,964
資本剰余金	1,828,308	1,800,066	1,809,412
利益剰余金	1,921,057	1,892,814	1,902,162
自己株式	△1,921	8,526	339,310
評価・換算差額等	△54,052	△1,932	△1,921
新株予約権	4,071	△1,932	△19,976
純資産合計	3,615,931	3,700,929	4,032,187
負債純資産合計	13,008,992	13,203,930	12,925,243

●中間損益計算書（個別）

（単位：千円）

科 目	当中間期	前中間期	前期
	自平成19年7月1日 至平成19年12月31日	自平成18年7月1日 至平成18年12月31日	自平成18年7月1日 至平成18年6月30日
営業収益	209,306	233,300	279,176
売上総利益	209,306	233,300	279,176
販売費及び一般管理費	485,029	283,125	505,854
営業損失	275,723	49,825	226,678
営業外収益	46,710	25,248	1,055,563
営業外費用	123,097	81,714	175,777
経常利益又は損失（△）	△352,110	△106,291	653,106
特別損失	49,652	141,284	227,967
税引前中間（当期）純利益又は損失（△）	△401,763	△247,576	425,138
法人税、住民税及び事業税	475	475	950
法人税等調整額	18,603	△126,218	215,236
中間（当期）純利益又は損失（△）	△420,842	△121,832	208,952

●中間株主資本等変動計算書（個別） 当中間会計期間（自平成19年7月1日 至平成19年12月31日）

（単位：千円）

	株 主 資 本						評価・換算差額等		新株 予約権	純資産 合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金			評価・換算 差額等合計	
資本 準備金		その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計							
平成19年6月30日 残高	1,809,412	1,902,160	2	1,902,162	339,310	339,310	△1,921	4,048,964	△19,976	△19,976	3,198	4,032,187
中間会計期間中の変動額												
新株の発行	18,895	18,894		18,894				37,790				37,790
中間純損失					△420,842	△420,842		△420,842				△420,842
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額（純額）									△34,076	△34,076	872	△33,203
中間会計期間中の変動額合計	18,895	18,894	—	18,894	△420,842	△420,842	—	△383,052	△34,076	△34,076	872	△416,255
平成19年12月31日 残高	1,828,308	1,921,055	2	1,921,057	△81,531	△81,531	△1,921	3,665,912	△54,052	△54,052	4,071	3,615,931

会社情報

●会社概要

商号 株式会社デジタルガレージ
 設立 平成7年（1995年）8月17日
 事業内容 グループとしての戦略を策定する純粋持ち株会社
 ●インターネット関連企業等への投資育成事業
 ●IT構築及びポータルサイト等の企画・運営事業等

従業員 29名（連結従業員数731名）
 （平成19年12月31日現在）

●役員（平成20年3月21日現在）

代表取締役／ グループCEO	林	郁
取締役	西本優晴	
取締役	六彌太恭行	
取締役	櫻井光太	
取締役	家氏太造	
取締役	小尾一介	
取締役	牛久等	
取締役	佐武利治	
取締役	伊藤穰一	
取締役	青木輝夫	
常勤監査役	村松康充	
監査役	喜田村洋一	
監査役	大野実一	
監査役	安田幸一	

●グループ会社のホームページ



株式情報（平成19年12月31日現在）

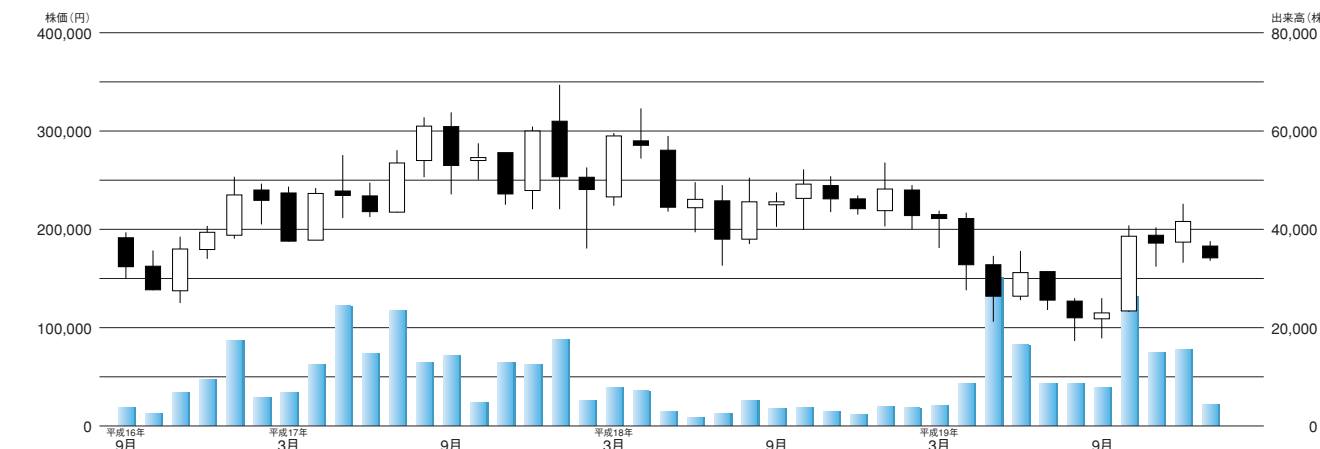
●株式の状況

発行可能株式総数・・・480,000株
 発行済株式総数・・・159,308株
 議決権総数・・・159,298個
 株主数・・・2,750名

●大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
林 郁	44,482	27.92
ジェーピーモルガンチェースシーアールイーエフ ジャスデック レンディング アカウント	11,951	7.50
T I S (株)	8,800	5.52
日本スタートラスト信託銀行(株)(信託口)	6,487	4.07
(有) ケイ・ガレージ	5,360	3.36
ミ ッ ク ス	5,153	3.23
六 彌 太 恭 行	5,148	3.23
指定単受託者中央三井アセット信託銀行(株)1口	5,000	3.14
ビービーエチルクスフィデリティファンズ パシフィックファンド	4,354	2.73
マン・アンド・マシーン・インターフェイス(株)	3,981	2.50

●株価の推移



※当社は、平成18年12月31日の最終の株主に対し、所有株式数を普通株式1株につき2株の割合をもって、株式分割致しました。
 本表では過去にさかのぼり、株式分割調整後の株価で記載致しました。

●株式分布状況

